

## 「大相模調節池」周辺の池沼跡

(令和四年(二〇二二)十一月八日実施)

### 越谷市内小学校の野外授業用資料を改訂)

秦野 秀明

## はじめに

越谷市大相模地区には、平成二十六年(二〇一四)十月十九日に竣工した「大相模調節池」(1)が存在する。

その「大相模調節池」(1)の周辺を、明治十三年(一八八〇)測量の「迅速測図」(2)を用いて読図及び精査すると、「迅速測図」(2)の作成された明治十三年(一八八〇)当時には、「10か所の池沼」が存在していた事実が判明した。

令和四年(二〇二二)十一月八日、依頼により筆者が実施した越谷市内小学校の野外授業において、前記の明治十三年(一八八〇)当時に存在した「10か所の池沼」を記載した野外授業用資料を、実施当時は公開されていなかった「open hinata」(3)のデータを引用して改訂したのが本稿である。

## 結びにかえて

「open hinata」(3)のデータを活用し、「迅速測図」(2)と「地理院地図(電子国土Web)」(4)の「淡色地図」と「地形分類(自然地形)」を重ね合わせることにより、明治十三年(一

八八〇)当時に存在した「10か所の池沼」の「地形分類」の詳細として、「氾濫平野」(5)に「5か所」、「後背湿地」(6)に「5か所」存在していた事実が新たに判明した。

この事実は、明治十三年(一八八〇)当時に存在した「10か所の池沼」の成因が、河川によって形成される「微高地(自然堤防)」(7)の・越流破堤後の洗掘等によって形成される「落堀(おっぼり)」(8)ではないことを明確に示している。

また、「open hinata」(3)のデータを活用することにより、「見田方遺跡」の立地が「氾濫平野」(5)ではなく、「後背湿地」(6)に存在した事実も判明し、昭和四十六年(一九七一)に刊行された『見田方遺跡発掘調査報告書』(9)の「まとめ」(10)に記載される「確認された住居址の基盤をなす土層は何れも灰色粘土層で三角州の堆積物とみなすべきもの」や「奥東京湾が海退期にはいつて、この付近に河口があった頃の堆積物であろう」という推定は傾聴に値する。

## 注

(1) (二〇一五) 国土交通省関東地方整備局

政策広報誌「関東の窓」第一〇五号

(2) 明治十三年(一八八〇)測量

「迅速測図(埼玉県武蔵国北葛飾郡吉川村南埼玉郡増森村及近傍村落)」

(3) 「open hinata」

<https://kenzkenz.xsrv.jp/open-hinata/>

(4) 「地理院地図 (電子国土Web)」

<https://maps.gsi.go.jp/>

(5) 「氾濫平野」

(二〇一五) 「治水地形分類図 解説書」

国土地理院 防災地理課

<https://www.gsi.go.jp/common/000106990.pdf>

定義「低地のうち、河川の堆積作用によって形成された起伏の小さい低平地を総称して「氾濫平野」とする」

適用範囲「本川の氾濫平野の他に、谷底平野、海岸平野、三角州を含む」

(6) 「後背湿地」

前掲注 (5)

定義「主として河川の堆積作用があまり進んでいない、沼沢性起源の低湿地をいう。「旧河道」や「落堀」に入るものを除く」

適用範囲「圃場整備などで改変され、現在では表面上わからなくなっているものも含む」

(7) 「微高地 (自然堤防)」

前掲注 (5)

定義「河川に沿って形成される「自然堤防」の他、古い天井川沿いの微高地も含める(古い天井川沿いの微高地内の流路跡は旧河道に区分する)」

適用範囲「空中写真等から、一般面との比高が0.5〜1

m程度以上あるものについて適用する。旧版地形図上の土地利用も参考とする」

(8) 「落堀 (おっぱり)」

前掲注 (5)

定義「過去の洪水によって堤防が越流破堤し、氾濫流の流水によって洗掘されてできた池状の凹地」

適用範囲「現在は湿地となっているものや、改変されて表面上わからなくなっているものも含む」

(9) 越谷市教育委員会編 (一九七一)

『見田方遺跡発掘調査報告書』

越谷市教育委員会 Pp. 1-68

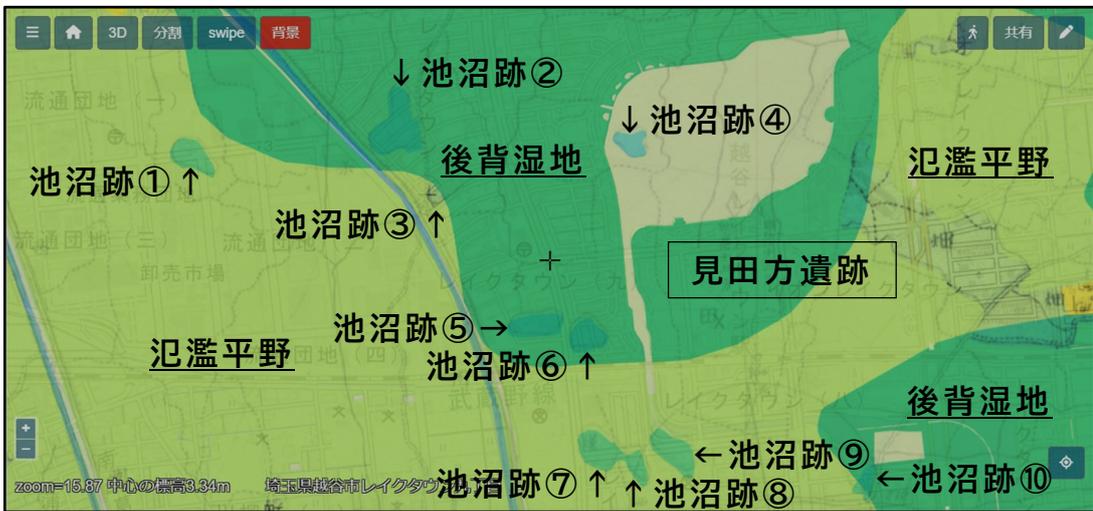
(10) 前掲注 (9)

和島 誠一 (一九七一) 「まとめ」 Pp. 66-68

「前略」ところで現在もなお水田地帯であり、自然堤防からは大分離れた見田方の数地点から古墳時代後期の土器だけでなく住居址らしいものの発見が伝えられたのである。「中略」調査の結果は後に述べられるように、確認された住居址の基盤をなす土層は何れも灰色粘土層で三角州の堆積物とみなすべきものであった。おそらく縄文前期には今の利根川の南辺まで達していた奥東京湾が海退期にはいって、この付近に河川があった頃の堆積物であろう「後略」



↑ 出典：Open hinata  
 「迅速測図（関東：明治初期～中期）100%」より加筆して引用



↑ 出典：Open hinata  
 「地形分類（自然地形）66%」「明治期の低湿地 66%」  
 「迅速測図（関東：明治初期～中期）66%」「淡色地図 100%」  
 より加筆して引用



↑ 出典：Open hinata  
 「淡色地図 100%」より引用